

第5章 土 木

第1節 普通土木

1 道路橋梁事業

(1) 管理事務

管理事務については、道路1,388件・河川146件に係る占用許可及び工事承認、官民境界72件・車両制限令5件・街区基準点11件・幅員7件に係る証明交付、用途廃止17件、普通財産売払及び時効取得意見7件、官民境界確定268件、区域決定・変更告示12件並びに都市計画法の協議に対する同意14件、合計1,947件を処理したほか、白図424枚の売払事務を行った。

道路台帳補正事業は、前年度完了した改良路線等4,110.0mについて台帳を整備した。

(2) 道路パトロール

安全で円滑な交通の確保を図るため、道路パトロールを実施して道路及び道路の利用状況を的確に把握し、道路構造の異常、不法占用等に対して迅速かつ適切な措置を講じた。

また、東京電力、NTT、静岡ガス、郵便局、沼津信用金庫及び三島信用金庫へ業務中に発見した異常箇所の情報提供を依頼し、地域と連携して道路環境の保全を行った。

本年度は、道路・側溝等の補修2,649件、安全施設の点検等581件を処理した。

(3) 道路維持事業

すべての道路が、常に良好な状態を保ち、その本来の機能を発揮できるよう、計画的な道路改修工事等適切な整備を行うとともに、地元要望にも応じた維持修繕を行った。

本年度は、道路修繕工事等35件、舗装及び側溝修繕等363件、道路防災工事4件を実施した。

砂利道については、関係地域住民の協力を得て砕石、生コン等により路面補修及び路面整備を実施した。

(4) 道路改良事業

骨格となる広域幹線道路網や、生活基盤である道路等の整備のため、市道0246-3号線道路改良工事ほか25件の改良工事1,780.8mを施工するとともに、用地取得1,323.7㎡、物件補償等24件などを実施した。

また、県が施行する沼川新放水路整備に伴う市道付け替えのため、用地取得277.6㎡を実施するとともに、主要地方道沼津土肥線ほか2路線の道路整備に対し、地元負担金を支出した。

(5) 橋梁長寿命化事業

定期的な点検と補修により老朽化を予防し、トータルコストの縮減を図るために策定した沼津市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、新幹線跨線橋橋梁点検業務委託ほかを実施した。

(6) 落橋防止対策事業

安全で信頼性の高い道路ネットワークの確保を目的に、耐震対策として市道0107号線永代橋耐震補強・補修工事、香貫大橋橋梁補修工事ほかを実施した。

(7) 自転車・歩行者ネットワーク整備事業

安全で快適な自転車通行空間の整備を目的に、自転車通行空間整備工事3件を施工するとともに、自転車歩行者道詳細設計業務委託ほか1件を実施した。

(8) 交通安全施設等整備事業

歩行者・自転車等の安全確保及び事故防止を図るため、蛇松白銀歩道橋塗装塗替工事ほか9件を施工するとともに、道路反射鏡99基、グリーンベルト3,011.3m等交通安全施設の整備・修繕を行った。

2 河川海岸事業

(1) 河川管理

河川の氾濫、浸水の防止及び排水対策の万全を期すため、沼津江川ほか33か所の排水機場・4水門及び狩野川の15樋管・6陸こうについて適正管理に努めた。

(2) 河川維持事業

良好な生活環境の保全を図るため、塚田川浚渫工事ほか118件の排水路・河川施設の修繕工事及び浚渫工事等を施工するとともに、台風第19号に伴う内水排除等業務委託ほか21件の業務委託を実施した。

(3) 一般河川整備事業

中小河川の氾濫防止と環境整備を図るため、月川改良工事ほか2件77.0mの一般河川改良工事を施工した。

また、県が施行する沼川新放水路整備に伴う河川等の付け替えのため、用地取得165.3㎡を実施した。

(4) 総合的治水対策整備事業

常襲浸水地域の浸水被害の軽減を図るため、浜水門排水機場除塵機更新工事ほか9件の工事を施工するとともに、井戸川雨水貯留池用地測量業務委託ほか1件の業務委託を実施した。

(5) 急傾斜地崩壊対策事業

急傾斜地崩壊危険区域の住民の生命・財産を守るため、平沢急傾斜地崩壊対策工事ほか1件を施工した。

(6) 海岸保全事業

親しみと潤いのある海岸を創出するとともに、海岸保全と地域の活性化を図るため、西浦漁港（久連・平沢地区）海岸環境整備事業により、西浦海浜施設（らららサンビーチ）の維持管理などを実施した。

また、清潔で快適な海浜環境を維持するため、なぎさクリーン事業により、海岸愛護団体活動の支援や海岸に打ち上げられたごみや流草木等の処理などを実施したほか、新元号施行記念事業として、市民参加の清掃イベントを開催した。

3 港湾事業

県営沼津港において、県が実施した内港地区物件補償、外港地区西防波堤嵩上工事などに対し、地元負担金を支出した。

第2節 都市計画

1 沼津市都市計画マスタープラン

本市の都市計画に関する基本的な方針である都市計画マスタープランについては、本市を取り巻く様々な社会情勢の変化に対応したうえで、第4次沼津市総合計画が目指す将来都市像を実現し、持続可能なまちづくりを進めていくため、平成29年1月に第2次計画を策定した。

本計画は、「中心市街地と各拠点の連携」「沼津駅周辺整備を中心とした中心市街地のまちづくり」「新たな交通基盤を活かしたまちづくり」「安全・安心なまちづくり」の4つの視点のまちづくりを戦略的に展開することとしている。

本年度は、新たな交通基盤を活かした産業立地の促進により雇用の場を確保し、本市発展の原動力となるまちづくりを展開するため、10月に足高地区において用途地域の変更等を行った。

また、本計画で位置付けた将来都市像を実現するため、都市機能や居住の適正な誘導を図るための戦略として平成31年3月に策定した「沼津市立地適正化計画」に基づき、コンパクトなまちづくりの取り組みを推進した。

2 沼津市中心市街地まちづくり戦略

都市計画マスタープランに位置付けた「沼津駅周辺整備を中心とした中心市街地のまちづくり」を具体化するため、沼津駅周辺総合整備事業による都市空間の再編を契機としたヒト中心のまちづくりの考え方として、平成30年5月に「沼津市中心市街地まちづくり戦略に向けて」を公表した。

また、市民、事業者、有識者等で構成される「沼津市中心市街地まちづくり戦略会議」を3回開催し、沼津駅周辺を車中心からヒト中心の魅力ある場へと再生し、多くの市民や来街者が集い、交流し、住まい、回遊する都市の顔として再構築するための検討を行った。

こうした検討を踏まえ、沼津駅周辺総合整備事業の本格展開と併せて取り組むべきまちづくりの施策の方向性を示す「沼津市中心市街地まちづくり戦略」を令和2年3月に策定した。

また、中心市街地のまちづくりを推進するにあたっては、まちづくりに多くの市民が関心を持ち、意識の高揚を図ることが必要であるため、試行的な取り組みとして、公共空間を活用した社会実験を11月に実施した。

3 沼津駅周辺総合整備事業

沼津駅周辺における鉄道高架事業や土地区画整理事業、関連道路整備事業など6つの事業を一体的・総合的に行う沼津駅周辺総合整備事業を推進した。

平成20年3月に中心市街地活性化の先導的事业として商業・住宅を主体とした再開発ビル「イーラde」がオープンしたほか、県東部地域の広域的な交流施設として、県市共同で整備した総合コンベンション施設「プラサヴェルデ」が平成26年7月にグランドオープンするなど、沼津駅の南北において新たなにぎわい拠点が形成された。

(1) 鉄道高架事業

静岡県は、平成18年11月に鉄道高架事業の事業認可を取得し、鉄道沿線での測量や高架本体用地の取得等を進めている。

また、平成20年3月には、県と市が共同で新貨物ターミナル整備に関する変更認可を取得し、県市共同で事業に取り組んでいる。

本市は、県とともに早期完成に向け、鉄道事業者などの関係機関と調整を図るとともに、市民や事業者等を対象に事業PRを実施した。また、高架本体の整備に先行する鉄道施設の移転に向け、9月には、新貨物ターミナル整備予定地において、土地収用法第39条に基づく裁決の申請及び同法第47条の3に基づく明渡裁決の申立てをし、移転先用地の取得等を進めた。

(2) 鉄道高架化促進市民団体助成

沼津駅付近の鉄道高架化の早期実現に向け、全市民的啓発活動を展開する「沼津駅の高架化を実現する市民の会」に対し、助成を行った。

(3) 沼津駅周辺総合整備基金

鉄道高架化等沼津駅周辺の総合整備に要する経費に充てるとともに、基金運用収入を基金に積立てた。

4 都市計画法等関係事務

都市計画法等に基づいて行った各種許可等の事務は、次のとおりであった。

(1) 開発行為等の取扱件数

件 名	件 数
都市計画法第29条開発行為許可	18 件
都市計画法第35条の2 開発行為変更許可	14
都市計画法第42条予定建築物以外の建築許可	
都市計画法第43条建築許可	36
租税特別措置法に基づく優良宅地等の認定	
開発登録簿の写しの交付	77
計	145

(2) 都市計画法第53条の取扱件数

件 名	申 請 件 数	許 可 件 数
都市計画道路	16 件	16 件
その他の都市計画施設	20	20
土地区画整理事業		
計	36	36

5 市街地再開発事業

町方町・通横町地区第一種市街地再開発事業について、事業化に向けて地元の組合が進めている計画策定等に対して助言等を行った。

6 宅地耐震化推進事業

ホームページに、事業に関する説明や大規模盛土造成地マップを掲載し、周知に努めた。

7 土地区画整理事業

(1) 千本地区土地区画整理事業（下河原工区）

本年度は、下河原工区において、換地計画準備業務委託を実施した。

(2) 岡宮北土地区画整理事業

本年度は、6-2号調整池築造工事ほか15件を施工するとともに、物件補償ほか80件、

実施計画変更資料作成業務委託ほか31件などを実施した。

(3) 沼津駅南土地区画整理事業

本年度は、電線共同溝整備工事を施工するとともに、物件補償ほか18件、物件調査等業務委託ほか8件などを実施した。

(4) 静岡東部拠点土地区画整理事業

本年度は、埋蔵文化財資料整理を行った。また、物件補償積算業務委託ほか6件などを実施した。

8 市街地整備事業

原地区に残る白隠禅師に由来する歴史的資源を活用した趣のある歩行空間・沿道景観を創出することを目的に、平成20年度から地元住民との協働により道路整備等を進め、本年度、道路改良工事80.3m、案内板等設置工事7か所を実施し、白隠のみち整備事業が完成した。

9 街路事業

(1) 沼津南一色線道路改良事業

岡宮北土地区画整理事業による区間と並行し、街路事業により平成8年度から延長656.0mの整備を進めているもので、本年度は、道路改良工80.0m、交差点測量設計業務委託ほか3件を実施した。

高尾山古墳保存に関わる道路整備箇所については、整備方針に示されている「道路と古墳を含む周辺までを一体的な空間として設計し、質の高い整備を行うことで良好な景観の形成を図る」という目的を達成するために設計競技方式によるデザインコンペを実施し、最優秀提案者と道路測量設計業務委託契約を締結した。

(2) 片浜西沢田線道路改良事業

平成10年度から金岡浮島線以北延長240.0mの未整備区間及び県道富士清水線から市道2557号線までの未整備区間928.7mの整備を進めているもので、本年度は、道路築造工ほか1件136.6m、用地取得2,113.5㎡、物件補償等7件、詳細設計業務委託等8件を実施した。

(3) 納米里本田町線道路改良事業

平成24年度から延長201.8mの整備を進めているもので、本年度は、道路改良工ほか2件105.1m、交差点照明施設設計業務委託1件を実施した。

(4) 原駅町沖線道路改良事業

平成26年度から原駅前広場の整備を進めているもので、本年度は、用地取得76.9㎡、物件

補償等11件、分筆登記申請業務委託1件を実施した。

(5) 金岡浮島線道路改良事業

市道2586号線以東延長400.0mの未整備区間について、境界確定業務委託ほか1件を実施した。

(6) 高架側道整備事業

高架本体北側の環境保全のために側道を設置するもので、高架側道7号線は平成20年度から、大岡地内で延長341.0mの整備を進めている。

高架側道6号線は平成29年度から、富士見町地内で延長125.0mの整備を進めている。

(7) 県営都市計画道路整備事業

県が施行する金岡浮島線ほか2路線の都市計画道路整備に対し、地元負担金を支出した。

10 公園事業

(1) 公園維持事業

公園の修景・休養・遊戯施設等の補修整備を実施し、市民の憩いの場として公園施設の保全に努めるとともに、樹木に発生した病害虫の駆除を実施した。

(2) 公園緑地整備事業

豊町公園遊具設置工事、愛鷹運動公園内宿泊施設火災報知設備設置工事ほか3件の施設整備等を実施した。

(3) 公園施設長寿命化事業

公園施設の予防的保全管理の推進や、円滑で適切な管理を図るため、本年度は公園施設長寿命化計画に基づき、共栄公園ほか16公園の遊具等の更新を実施した。

(4) 御用邸記念公園保存活用事業

平成28年10月に国の名勝指定を受けた「旧沼津御用邸苑地」について、策定委員会を3回開催し、名勝としての保存と活用に必要な整備を行うため「名勝旧沼津御用邸苑地整備基本計画」を策定した。

(5) 緑化推進事業

ア 緑化指導啓発

春・秋のみどりまつりや、寄せ植え教室等の各種講習会を開催し、市民の緑化に対する意識の向上に努めた。

イ 公共施設等緑化

花苗の供給により、公共施設等のオープンスペースの緑化推進に努めた。

ウ 緑の基本計画の改定に向けて、緑地状況調査や課題の整理等を行った。

11 香陵公園周辺整備事業

新総合体育館の建設などを含むPFI事業について、本年度は、事業者の選定及び事業契約の締結を行い、設計業務に着手するとともに、西島第二都市排水路河川付替え他工事ほか3件、埋蔵文化財発掘調査支援業務委託ほか5件を実施した。

12 まちなか居住推進事業

まちなかの居住人口の維持・拡大に資する施策の実施に向けて、現在の住宅分布等の現況調査、住宅関連事業者へのヒアリングや意見交換などにより、住宅形態やエリア別の需要と居住促進への課題の把握に努めた。

13 リノベーションまちづくり

空き家や空き店舗などの古い建物に、今の時代に適した新しい機能を付加することで、まちなかにぎわい創出を目指す、リノベーションまちづくりに取り組んだ。

これまで進めてきた個々の物件のリノベーションから、エリアリノベーションへの展開を図るため、専門家やまちのプレーヤーなどを交えたワークショップを7回開催し、重点エリアを定め、戦略的にエリア再生を進める「旧国一南エリアビジョン」を令和2年3月に策定したほか、ソフト面での事業プランを作成する「第5回リノベーションスクール@沼津」を同年2月に開催した。

また、新仲見世商店街のアーケード撤去後の道路空間の再編に向けた検討を行い、道路測量、道路デザイン、道路設計を実施した。

さらに、市と商工会議所で組織する協議会を支援し、まちの資源発見や、まちづくり人材の発掘とネットワーク化などを進めたほか、これまでのリノベーションまちづくりの事業成果をまとめた冊子を作成し、配布するなど広く情報発信を行った。

14 公共交通活性化

本市の公共交通の課題を踏まえ、まちづくりと一体となった持続可能な公共交通ネットワークについて協議するため、「沼津市地域公共交通協議会」を4回開催し、その実現を目指した「沼津市地域公共交通網形成計画」を令和2年3月に策定した。

また、地域振興及び公共交通空白地域の解消のため、ミューバス片浜駅循環、原駅循環の運

行を支援するとともに、バス、タクシーの利用促進に向けたPR活動を支援するなど、公共交通の活性化に努めた。

15 生活バス路線自主運行

戸田地区及び西浦地区の通勤、通学、通院など、市民生活に必要な公共交通手段を確保するため、乗合バス路線及びデマンド式乗合タクシー路線の自主運行を実施した。

16 新たな公共交通推進事業

静岡県と連携し、沼津駅－沼津港間において自動運転と優先信号制御を組み合わせた国内初の実証実験を令和2年1月に実施した。

また、誰もが使いやすい公共交通を目指し、「公共交通deおでかけマップ」を作成し全戸配布するとともに、EVバスの導入支援などを行った。

17 放置自転車等対策

放置自転車等は、歩行者の通行や消防活動等に支障を来すとともに、都市美観を損ない、公共空間の機能を失わせるなどの要因となっている。このため、沼津駅周辺市街地における自転車等の放置禁止区域において、放置防止指導及び放置自転車等の撤去を実施するとともに、関係機関の協力を得て、市民に放置を防止する呼びかけを行った。

18 地籍調査事業

土地行政の円滑化、公租公課の公平化、境界紛争の防止、災害対策などに資する地籍の明確化を図るため、国土調査法に基づく地籍調査を行った。

実施地区	実施内容	実施面積
松長地区の一部	一筆地測量	6ha
第二地区の一部	一筆地測量 一筆地調査	26ha 10ha
東椎路・西椎路・東原地区の一部	調査素図の作成	58ha
原地区の一部	一筆地調査	7ha

第 3 節 住 宅

1 市営住宅の管理

管理戸数は、1,888戸である。

住宅の維持管理については、市営住宅原団地D－5棟居住改善・給水管改善・外壁改修・受水槽設置他工事など244件を施工し、居住環境の向上を図った。

区 分	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率
住宅使用料	428,780,979 ^円	395,995,330 ^円	12,228,139 ^円	20,557,510 ^円	92.4 [%]
駐車場使用料	32,220,000	32,220,000	0	0	100.0

2 公営住宅整備推進事業

平成31年3月に策定した「沼津市営住宅今沢団地建替基本構想」を踏まえ、建替戸数や住戸タイプ等の検討、若者世帯等の入居促進や災害対策の検討、配置計画や事業スケジュールのモデル等の作成を行い「沼津市営住宅今沢団地建替基本計画」を策定した。

また、PFI方式による市営住宅自由ヶ丘団地整備事業については、住棟買取と維持管理業務を実施した。

3 高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業

高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業では、民間事業者が建設した高齢者の生活に配慮した良質な賃貸住宅について、家賃減額補助を行った。

区 分	補 助 金	概 要
家賃減額補助	1,606 ^{千円}	1件 8戸

第4節 建築指導

1 建築基準法関係事務

建築基準法等に基づいて行った各種申請事務は、次のとおりであった。

(1) 建築確認申請等取扱件数

(単位 件)

	建築確認申請					計画通知				
	確認申請 受付件数	計画変更 受付件数	確認済証 交付件数	完了申請 受付件数	検査済証 交付件数	計画通知 受付件数	計画変更 受付件数	確認済証 交付件数	完了通知 受付件数	検査済証 交付件数
建築物	4		4	4	4	5		4	8	8
建築設備						4		3	3	3
工作物	3		3	6	6	2		2	7	7
計	7	0	7	10	10	11	0	9	18	18

(2) 建築許可等申請取扱件数

(単位 件)

	許可等申請取扱総件数	許可申請件数	認定申請件数	仮使用承認申請件数
許可等件数	259	15	244	2

(3) その他の取扱事務

道路位置指定	7件	延べ186.4 m
建築物等証明		316件
中高層建築物の建築に関する指導要綱届出件数		3件
建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律届出件数		54件
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律届出件数		714件
静岡県福祉のまちづくり条例届出件数		17件
静岡県地球温暖化防止条例届出件数		4件

2 建築審査会開催状況

建築審査会 1回

3 狭あい道路拡幅整備事業

良好な居住環境の確保と災害に強いまちづくりを推進するため、本市が管理している幅員4m未満の狭あい道路について、道路後退部分の寄附または使用承諾を受け、道路の拡幅整備を実施するもので、本年度は、49件の拡幅整備を実施した。

4 既存建築物等耐震化促進事業

地震発生時における建築物等の倒壊による被害を軽減するため、昭和56年以前に建てられた建築物の耐震化を促進するもので、本年度は、次のとおり実施した。

- (1) わが家の専門家診断事業 107件
- (2) 既存建築物等耐震化促進事業
 - ア 既存建築物耐震診断事業 1件
 - イ 既存住宅耐震診断事業 45件
 - ウ 既存建築物補強計画策定事業 0件
 - エ 木造住宅除去助成事業 33件
 - オ 耐震シェルター・防災ベッド等設置事業 0件
- (3) 木造住宅耐震補強事業 38件

5 アスベスト改修事業

吹付けアスベストによる健康被害の未然防止を図るため、民間建築物を対象にアスベスト含有調査・除去等工事への事業費補助及びその啓発を実施するもので、本年度は、含有調査2件に対して補助を行った。

6 指定道路調書整備事業

市民サービスの向上を図るため構築した道路台帳システムに、平成30年度分の道路位置指定及び建築計画概要書のデータ入力を実施した。

7 空き家等対策事業

市民からの空き家に関する相談を受け、現場の確認や所有者への適正管理の指導等を行うと

ともに、沼津市空き家等対策審議会の中で、その状況を報告した。また、沼津市空き家等対策協議会を設置し、今後の空き家対策について基本的な方針を定め、空き家対策施策をより効果的に実施することを目的とした「沼津市空き家等対策計画」を策定した。